

福井県公共工事入札監視委員会の開催概要について

このことについて、令和6年度福井県公共工事入札監視委員会（第1回）を開催しましたので、その概要をお知らせします。

記

- 1 日 時 令和6年7月26日（金） 14:00～15:30
- 2 場 所 県庁10階 審問廷
- 3 出席委員 荒井委員、樫尾委員、清水委員、藤井委員、三寺委員（五十音順）
- 4 議事次第
 - 1) 開会
 - 2) 議題
 - (1) 入札および契約に係る制度の運用について
 - ①入札・契約手続の運用状況
 - ②抽出事案審議
 - 3) その他
 - 4) 閉会
- 5 会議概要
 - (1) ー① 入札・契約手続の運用状況（令和5年10月1日～令和6年3月31日）
 - ・契約件数、落札率の状況について説明
 - ・指名停止の運用状況について説明
 - ・総合評価落札方式の実施状況について説明

Q 工事の落札率の状況について、99%以上の割合が価格競争より総合評価の方が高い理由は何か。

A 総合評価は、技術力と価格競争力の合計で落札者が決定するため、自社の技術力が有利に働く一方で、価格競争に比べて落札率が高くなる傾向がある。

Q 不調不落発生率について、建築一式工事が昨年と比較して高いのはなぜか。

A 材料単価の高騰が昨今続いており、中でもサッシ関係の材料単価が高騰し、設計と乖離があり、不調が多くなった。
 - (2) ー② 抽出事案審議
 - 抽出事案1

Q 高度な技術力が必要な工事ではなく、金額も大きくないが、格付要件をA等級にしている理由は何か。

A 土木一式工事については、設計額の規模に応じて等級区分を設定している。
 - 抽出事案2

Q 3者辞退の理由は何か。

A 理由は、聴取していない。入札については、適正に執行されていることから特に問題は無い。

抽出事案3

Q 入札参加資格である土木一式工事のA等級業者のうち、敦賀土木事務所管内に主たる営業所を有している業者数はいくつか。

A 21者である。

抽出事案4

Q 入札者が11者と多い理由は何か。塗装工事の通常の発注金額はいくらか。

A 区画線工事は、一般的に500万円規模の発注が多い。今回の事案が特別に金額が高いわけではない。

抽出事案5

Q 基準価格を下回る入札があったり、価格評価点が0点に近づいている業者があるがどのように評価しているのか。

A 設計業務の総合評価落札方式では、入札価格による価格評価点と企業の技術力による技術評価点の合計により評価しており、価格評価点の算定方式上、予定価格に近い金額で入札した場合には価格評価点は0点に近くなる。

その他（要望）

- ・ 応札者が少ない事案については、応札者が増える工夫をしてほしい。